

最悪の最重症アトピー性皮膚炎も OK

40 歳 女性 入院期間 2013/2/11～2013/5/11

アトピー性皮膚炎は幼少児から発症したが学童期は乾燥肌程度 中学・高校では 四肢屈曲部と体幹部にも軽度炎症があり近医で通院治療を受けていた。高校卒業就職後からアトピー性皮膚炎悪化、全身性に生じステロイド外用を毎日行うようになった。23 歳でステロイド離脱を試みたがウバウンド後乾燥と角化が強くなりごわごわ状態になった。様々な民間療法を試したが強い痒みは慢性に生じていた。

33 歳 痒みに耐えれなくなりステロイド プロトピック外用を再開。36 歳から漢方も併用していたが次第に効果が薄れ 2012.12 月から炎症が増悪、滲出液が生じ下肢の浮腫が強くなり痒みは一層増加した。痒みで不眠となり食欲低下し体重は 41→36 k g に減少した。

ステロイド（ネリゾナ）外用を増量しても効果が得られず皮膚炎は改善しなくなっていた。

体力も低下も限界になり当院入院となった。

当院ではステロイド・プロトピックは一切使用しないが BSC は著効し 1 か月目で TARC は 50314→5551 に低下 1/10 になった。

同時に好酸球も 24%から一気に 6.0%に低下 ステロイド抵抗性の最重症のアトピー性皮膚炎も 3 か月で一気に改善した。

外用は不必要になり内服もビタミン剤程になった。

	基準値範囲	2013/2/12	2013/3/12	2013/4/12	2013/5/7
TARC	450 以下	50314	5551 ↓	1909 ↓	759 ↓
LDH	120～245	578	350 ↓	256 ↓	199 ↓
IgE	170 以下	17639	11848 ↓	12311 ↓	10183 ↓
好酸球	7%以下	24.0	6.0 ↓	6.3	5.7 ↓

2013/2/11



2013/5/7

